



支援物資輸送の出発式！

鹿児島県トラック協会大隅運輸事業協同組合

4月15日（金）、鹿児島県トラック協会大隅運輸事業協同組合では、東日本大震災の被災地に支援物資を届けるための出発式を行ないました。

町内の13事業所から提供いただいた水5t、米や野菜13tなどの物資をトラックへ積み込み提供先の宮城県南三陸町へ向けて出発しました。

二日後の17日（日）に予定どおり到着し、同町の災害対策本部へ手渡されました。



▲支援物資を積み込んだトラックは、宮城県南三陸町へ向け出発しました。



空き瓶回収益金を募金 大崎町青年団連絡協議会

東日本大震災を受けて大崎町青年団連絡協議会は、「被災地復興の一助に」と空き瓶を回収して義援金にかえ被災地に送ろうという活動を行いました。

4月23日（土）、団員は町内の家庭や事業所をまわり、空になった一升瓶やビール瓶などの提供をお願いして回収しました。

集まった空き瓶は、現金に引き換えられ、日本赤十字社を通じて被災地に届けられました。



▲約600本の空き瓶が集まりました。



地域の環境を考える！ 田中自治公民館子ども会

2月27日（日）、田中集落子ども育成会では、森林の間伐の際に出る材木を活用して、ゴミなどの不法投棄を警告する標語標柱、野鳥の巣箱、花壇の作成を行ないました。

これは、平成22年度緑の募金交付事業を活用したもので、製作を通じて地域環境美化、不法投棄の軽減化、ゴミの分別による資源リサイクル化の向上を訴えました。また、地域住民との交流対話のための木製ベンチも設置し森林資源を活用したミニ地材地建を地域住民にPRしました。



▲間代材で巣箱を作り、地域に野鳥が飛び交うことを願いました。